

国内における野生いのしし豚熱感染事例の概要

豚熱（CSF）とは

（１）原因：豚熱ウイルス（classical swine fever virus）

（２）宿主：豚、いのしし ※人には感染しない

（３）分布：欧州、アジア、アフリカ、中南米の一部の国々

※ 我が国では平成30年 9 月に26年ぶりに発生。

飼養豚では23都県、野生イノシシでは38都府県で発生（令和 7 年 1 月31日時点）。

（４）症状：急性、亜急性、慢性型等多様な病態を示す。白血球減少。

※ 有効なワクチンが存在

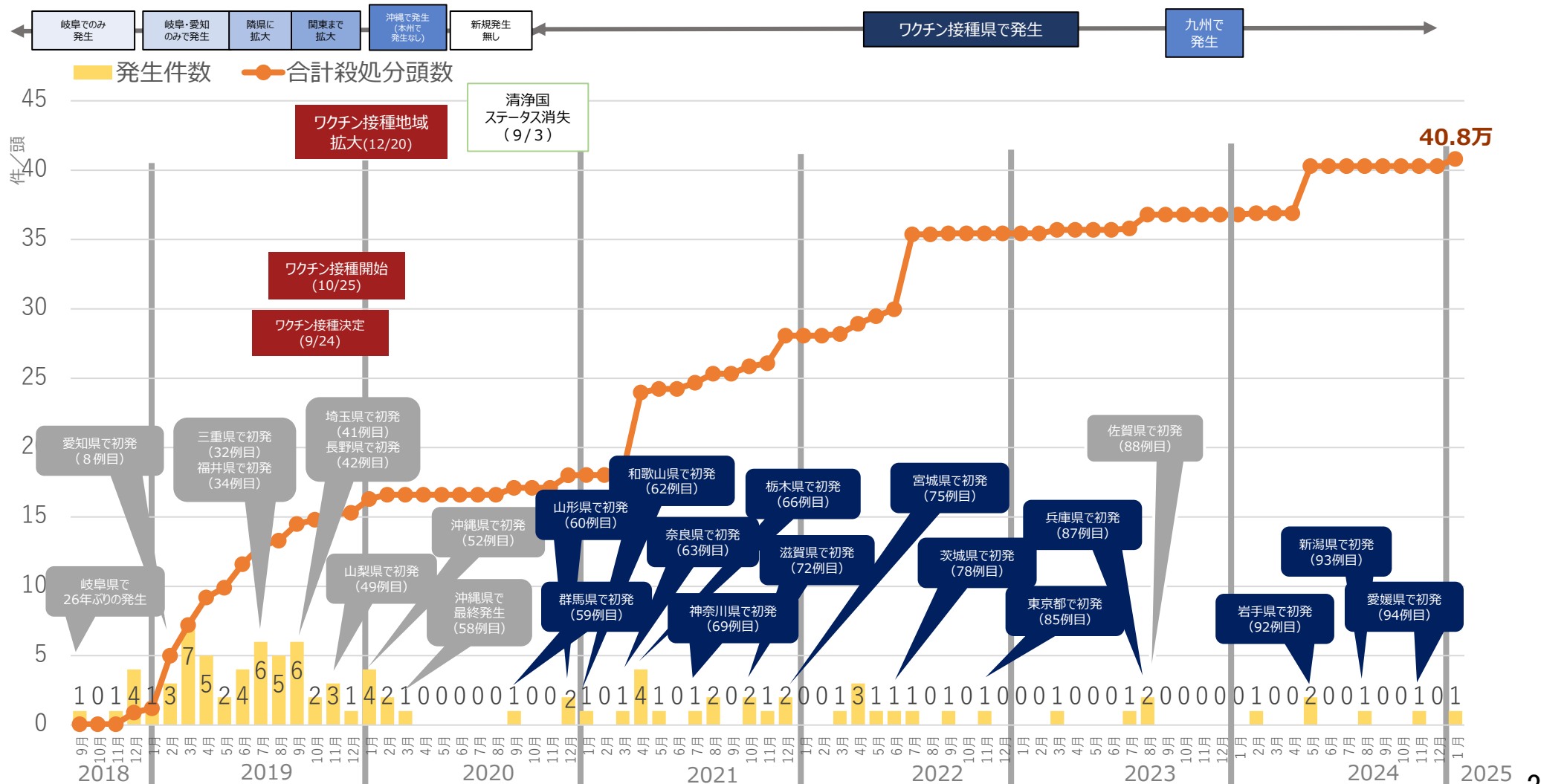


【皮膚紫斑（しはん）】

（出典：動物衛生研究部門）

豚熱発生 の経過

- 2018年9月9日の岐阜県での発生以来、**23都県で計95事例**発生し、これまでに**約40.8万頭を殺処分**。
- **2019年9月24日にワクチン接種を決定**、10月15日に防疫指針を改訂、**10月25日からワクチン接種開始**。
接種後、発生は散発的となるも、ワクチン接種県における発生も見られる状況。
- 2024年はこれまで、**栃木**（90・91例目）、**岩手**（92例目・初発）、**新潟**（93例目・初発）及び**愛媛**（94例目・初発）で発生。



野生イノシシにおける基本対策

(1) サーベイランスの強化

豚熱

アフリカ豚熱

- 平成30年9月から、**全都道府県**における**野生イノシシ**のサーベイランスを開始。
- 令和2年8月31日に**全都道府県**に向けて**豚熱・アフリカ豚熱のサーベイランスの強化通知**を発出。
- 令和3年11月、新たな遺伝子検査法の導入及び外部委託体制の整備により検査負担軽減。
- 令和4年4月、web上で生産者自ら農場周辺の検査状況を確認可能な新たな地図情報システムを提供。
- 令和5年11月、野生イノシシ死亡個体の耳介を用いた遺伝子検出検査適用により、検査可能個体が拡大。

(2) 捕獲の強化

豚熱

アフリカ豚熱

- 自治体、農林水産省及び環境省が連携し、北海道を除く**46都府県**について、農場周辺や野生イノシシの感染確認区域を「**捕獲重点エリア**」に設定。

(3) 経口ワクチン散布

豚熱

- 平成31年3月、岐阜県及び愛知県において、経口ワクチン散布を開始。
- 令和3年3月から民間ヘリコプターによる空中散布を実施（静岡県・栃木県）。
- 令和5年3月に散布方法の具体化等のため散布方針を改正。
- 現在、本州、四国の全都道府県及び佐賀県の**39都府県**で**経口ワクチン**を散布。

(4) 感染防止のための周知等の推進

豚熱

アフリカ豚熱

- 一般の方に対して、デジタルサイネージ広告の実施や多言語ポスターの提示・配布、ポスターコンテストの実施等により、感染防止対策を周知。
- 捕獲従事者に対して交差汚染対策周知のため、映像資材・漫画資材の配布。

(5) 法改正・制度的整理等の対応

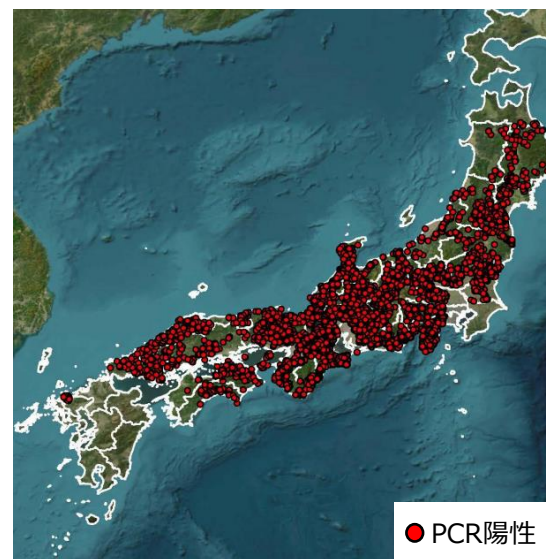
豚熱

アフリカ豚熱

- **サーベイランス、経口ワクチン散布等を家伝法に位置付け**（令和3年4月施行）。
- 野生イノシシの死体処理に関する制度的整理及び関係部局の連携強化について、消費・安全局長、農村振興局長、林野庁長官、環境省環境再生・資源循環局長、環境省自然環境局長による**5局庁長連名通知の発出**（令和4年3月）。
- アフリカ豚熱の防疫措置の具体化（防疫指針の改正・基本方針の策定（令和6年3月）、防疫演習の実施等）。

【39都府県で豚熱陽性野生イノシシを確認】

豚熱感染野生イノシシ発見地点
(発見・捕獲日ベース：令和7年1月22日時点)



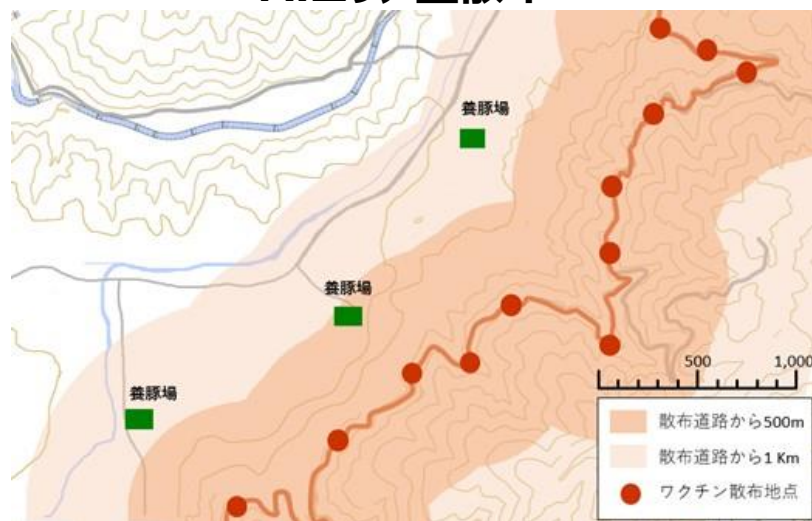
豚熱経口ワクチン散布の効果と方向性

- 平成31年3月、岐阜県及び愛知県において、経口ワクチン散布を開始し、**現在までに39都府県が経口ワクチンを散布**（令和7年1月17日時点）。
- 経口ワクチンの散布を早い時期から実施している中部地方の県では、**野生イノシシの豚熱陽性率がピーク時から低下**をしている中でも、**免疫獲得イノシシを継続的に確認**。また、研究においても、疫学的検証により散布効果として、散布地点周辺では免疫獲得イノシシの割合が高いことを確認。
- 散布により、**野生イノシシを介した感染拡大を抑え、環境中のウイルス低減を図る**ことで以下を目指しているところ。
 - ① **農場への感染リスクの低減**
 - ② **まん延スピードを弱め、未確認地域への侵入を防止**
- 農場への感染リスクの低減を意識した散布では、イノシシの生息や感染状況だけでなく、**農場の分布や規模を踏まえて、散布地点を選定**。

（参考）養豚場等周辺での経口ワクチン散布及び感染確認初期の緊急散布での散布地点の考え方

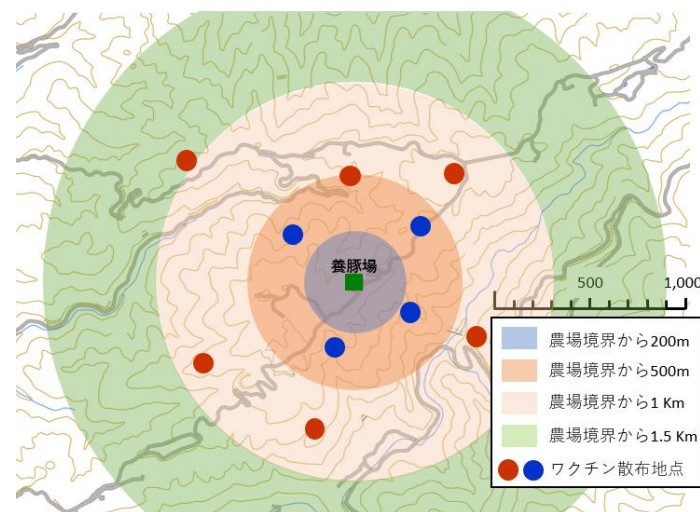
（豚熱経口ワクチンの野外散布実施に係る指針より引用。）

A:エリア型散布



- ・道路や河川等の障壁でイノシシの動線が見えやすい場合
- ・農場が多く集中しているエリアがある場合
- ・豚熱感染確認直後で緊急的に感染拡大を抑制したい場合

B:集中型散布



- ・農場が分散しており、ピンポイントの対策が必要な場合
- ・農場周辺の野生動物対策が適切に実施されている場合、農場近く（●）でも、散布が可能と考えられる。

佐賀県 野生イノシシでの豚熱感染状況



橙色円：1か月ごとの感染確認範囲（最小内包円による）

- 比較的弱い若齢個体が死亡
- 繁殖期を迎え、成獣での死亡が増加

事例	捕獲/発見日	場所	分類	詳細	Ct値※
1	5/30	唐津	捕獲	成獣オス 100cm/40kg	30.3
2	6/3	唐津	捕獲	成獣オス 90 cm/25kg	37.9
3	6/5	唐津	捕獲	幼獣メス 35cm/1kg	24.2
4	6/6	唐津	死亡	成獣不明 70cm/10kg	26.4-耳†
5	6/21	玄海	捕獲	成獣オス 90cm/18kg	25.7
6	6/24	玄海	捕獲	成獣メス 70cm/20kg	23.4-耳
7	7/1	唐津	死亡	成獣メス 90cm/25kg	29.0
8	7/5	玄海	捕獲	幼獣メス 50cm/10kg	27.1
9	7/8	唐津	死亡	成獣メス 100cm/50kg	28.3-耳
10	7/13	唐津	捕獲	幼獣オス 40cm/2kg	23.5
11	7/18	玄海	死亡	幼獣メス 40cm/5kg	20.7
12	7/27	玄海	捕獲	幼獣メス 40cm/7kg	34.0
13	8/5	伊万里	死亡	幼獣メス 30cm/1.5kg	22.5-耳
14	8/2	玄海	捕獲	幼獣オス 65cm/8kg	33.8
15	8/4	唐津	捕獲	成獣オス 110cm/75kg	38.8
16	8/8	伊万里	捕獲	成獣オス 100cm/40kg	32.9
17	8/16	玄海町	死亡	成獣メス 90cm/40kg	24.3-耳
18	8/30	玄海町	捕獲	成獣メス 90cm/20kg	26.4
19	9/3	伊万里	死亡	成獣オス 60cm/8kg	21.2
20	9/4	唐津	死亡	幼獣メス 40cm/2kg	37-耳
21	9/12	唐津	捕獲	成獣オス 80cm/10kg	30.3
22	9/26	伊万里	死亡	成獣メス 80cm/35kg	26.3-耳
23	10/4	唐津	死亡	成獣メス 50cm/15kg	25-耳
24	10/8	唐津	捕獲	成獣オス 115cm/60kg	29.0
25	10/15	唐津	捕獲	成獣オス 100cm/40kg	38.0
26	10/17	唐津	死亡	成獣メス 100cm/60kg	33.1-耳
27	10/23	唐津	死亡	成獣メス 90cm/40kg	25.2-耳
28	10/28	唐津	捕獲	成獣オス 115cm/40kg	37.4
29	10/29	唐津	捕獲	成獣メス 100cm/40kg	27.0-耳
30	10/28	唐津	捕獲	成獣メス 75cm/15kg	29.8
31	11/4	唐津	死亡	成獣オス 110cm/30kg	25.2-耳
32	11/8	玄海	死亡	成獣オス 80cm/18kg	27.9-耳
33	11/7	唐津	捕獲	成獣メス 100cm/30kg	30.3
34	11/11	唐津	死亡	成獣オス 120cm/60kg	26.6-耳
35	11/14	玄海	捕獲	成獣オス 77cm/15kg	37.2
36	11/14	玄海	捕獲	成獣メス 80cm/20kg	23.6
37	11/19	唐津	死亡	成獣オス 50cm/10kg	24-耳
38	11/29	伊万里	捕獲	成獣メス 100cm/30kg	28.4
39	12/5	唐津	死亡	成獣メス 75cm/45kg	30-耳
40	12/9	唐津	死亡	成獣メス 80cm/20kg	30.2-耳
41	12/10	唐津	死亡	成獣不明 80cm/20kg	34-耳
42	12/16	唐津	捕獲	成獣オス 50cm/20kg	29.0
43	12/23	唐津	死亡	成獣メス 100cm/50kg	32-耳
44	12/31	伊万里	捕獲	成獣メス 90cm/30kg	33
45	1/7	伊万里	捕獲	成獣メス 73cm/16kg	24.8
46	1/8	唐津	捕獲	成獣オス 120cm/50kg	41.8
47	1/14	唐津	死亡	成獣メス 60cm/30kg	26-耳
48	1/14	唐津	死亡	成獣不明 40cm/10kg	25.1-耳
49	1/26	唐津	捕獲	成獣メス 90cm/30kg	23
50	1/26	唐津	捕獲	成獣オス 105cm/30kg	36

※令和 6 年 5 月 30 日以降

- (1月28日時点)
- ・陽性頭数：50頭
(佐賀県のみ)
 - ・1例目発見地点から
10km圏内における
検査頭数：285頭
(長崎県を含む)

【凡例】

成獣オス

成獣メス

幼獣

雌雄不明

死捕

陽性・成獣♂ ● ■

成獣♀ ● ■

その他 ○ □

陰性 ●

< 感染確認範囲の推移 >

※最小内包円の算出による

6月末：2.74 km

7月末：3.32 km

8月末：5.17 km

9月末：5.17 km

10月末：6.36 km

11月末：6.74 km

12月末：10.18 km

1月：10.18 km

※Ct値は遺伝子量を表し、小さいほうが遺伝子量が多いことを意味する。
†耳は検査検体として耳介を用いたことを示す。

農林水産省消費・安全局動物衛生課

九州各県のサーベイランス実施状況について

令和6年9月の佐賀県の野生イノシシで豚熱感染確認を受け、九州各県でサーベイランス強化を依頼。

都道府県	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
福岡県	R4	27	57	36	64	95	113	85	53	24	33	34	15	636
	R5		2		3	1	26	69	91	57	13	14		276
	R6	2	2	7	90	68	56	78	74	43	2			422
佐賀県	R4		0	4	23	30	42	44	55	64	57	28	2	349
	R5	10	28	18	36	37	119	104	42	40	23	22		479
	R6	30	35	37	72	66	58	69	91	61	36			555
長崎県	R4	1	2	10	20	41	35	63	45	37	32	19	10	315
	R5	4	10	10	20	17	45	116	29	19	19	21	15	325
	R6	9	9	43	168	92	94	143	110	103	17			788
熊本県	R4		0	1	36	27	28	28	62	45	31	38	8	304
	R5		2	15	33	30	27	104	115	48	46	24	5	449
	R6	1		2	63	56	46	39	36	25	9			277
大分県	R4	83	12	2	6	26	20	49	24	61	23	8	11	325
	R5	25	14	6	13	8	69	81	48	67	36	32	14	413
	R6	15	10	14	53	92	60	121	61	74	24			524
宮崎県	R4		1	3	3	1	1	3	178	82	39	4	1	316
	R5	1	35	31	57	13	48	46	67	73	80	21	2	474
	R6	1	32	54	101	73	67	35	45	59	7			474
鹿児島県	R4	9	9	60	58	37	33	11	32	16	16	15	9	305
	R5	2	1	36	38	38	51	73	56	32	39	19	1	386
	R6	21	54	38	86	53	56	31	45	27	23			434
沖縄県	R4				1	1	4	5	7	13	21	12	1	65
	R5	1		34	52	28	61	107	28			1		312
	R6				3	10	22	89	137	42				303

令和7年1月22日時点

：豚農場での豚熱発生を受けてのサーベイランス強化期間

：野生イノシシでの豚熱確認を受けてのサーベイランス強化期間